

遺伝子発現制御学講座

Gene Expression and Regulation

准教授	甲斐田大輔	Daisuke Kaida
研究員	石田 健	Ken Ishida
研究支援員	林 めぐみ	Megumi Hayashi
研究員 (前)	古賀 光徳	Mitsunori Koga

◆ 原 著

- 1) Yoshimoto R, Kaida D, Furuno M, Burroughs AM, Noma S, Suzuki H, Kawamura Y, Hayashizaki Y, Mayeda A, Yoshida M. Global analysis of pre-mRNA subcellular localization following splicing inhibition by spliceostatin A. *RNA*. 2017 Jan; 23: 47-57.

◆ 学会報告

- 1) 甲斐田大輔. 細胞の正常な機能を維持する mRNA スプライシングチェックポイント機構. 第3回バイオシグナル研究会; 2017 Mar 8; 神戸. (招待講演)
- 2) 甲斐田大輔. 細胞の正常な機能を維持する mRNA スプライシングチェックポイント機構. 富山 RNA ワークショップ; 2017 Mar 13; 富山. (招待講演)
- 3) 佐藤崇之, 古賀光徳, 甲斐田大輔. スプライシング阻害は Aurora A の発現低下を介して M 期停止を引き起こす. 第19回日本 RNA 学会年会; 2017 Jul 19-21; 富山.
- 4) 菊池 啓*, 石田 健, 林めぐみ, 甲斐田大輔. *C-MYC* イントロン 1 は U6 snRNP の阻害に強い抵抗性を示す. 第19回日本 RNA 学会年会; 2017 Jul 19-21; 富山.
- 5) 林めぐみ, 古賀光徳, 片岡直行, 甲斐田大輔. RNA 結合タンパク質の過剰発現はスプライシング異常による転写抑制を解除する. 第19回日本 RNA 学会年会; 2017 Jul 19-21; 富山.
- 6) 甲斐田大輔, 佐藤崇之. スプライソスタチン A は Aurora A の発現低下を介して M 期停止とスピンドル形成異常を引き起こす. 第76回日本癌学会学術総会; 2017 Sep 28-30; 横浜.
- 7) 石田 健, 甲斐田大輔. mRNA スプライシング阻害剤が細胞周期停止を引き起こすメカニズムの解析. *RNA フロンティアミーティング 2017*; 2017 Nov 8-10; 京都.
- 8) 甲斐田大輔. スプライシング異常が細胞周期進行に与える影響の解析. 第40回日本分子生物学会年会; 2017 Dec 6-9; 神戸. (招待講演)
- 9) 石田 健, 古賀光徳, 林めぐみ, 甲斐田大輔. RNA 結合タンパク質の過剰発現によりスプライシング異常が引き起こす転写伸長抑制が解除される. 第40回日本分子生物学会年会; 2017 Dec 6-9; 神戸.
- 10) 甲斐田大輔. 遺伝子発現の正確性を保つ mRNA スプライシングチェックポイント機構. *HOKURIKU RNA CLUB 2017*; 2017 Dec 13; 金沢. (招待講演)